

ちゅ
ちむ美らさ

第121号

発行：北部農林水産振興センター
農業改良普及課

住所：沖縄県名護市大南1-13-11

電話：0980-52-2752

FAX：0980-51-1013



第34回 土壤保全の日 開催！

～次世代に残そう！農地はうまんちゅの宝～

北部地域農林水産産業推進会議（会長：玉城聡センター長）は、「農業生産活動の現場から土壌の流出を未然に防ぎ、地力低下の防止、環境保全を図るため、「土壤保全月間」を設置し、土壤保全関連行事を通して農業生産者の意識啓発と関係者相互の連携を図る」ことを目的に、第34回 土壤保全の日を東村の協力の下、実施しました。

日時：令和6年6月5日（水）13:30～15:00

取組：

場所：①東村宮城公民館

②東村内パイン圃場

内容：①赤土流出防止等講習会

講師：NPO法人グリーンネットワーク理事長 西原隆 氏

②赤土流出防止対策現地見学会

講師：東村農業環境コーディネーター 仲村仁也 氏

- 目次 -

- 1P・土壤保全の日 開催
- 2P・果樹の台風対策事例
- 3P・野菜の台風対策事例
・花菱の台風対策事例
- 4P・さとうきびの台風対策
- 5P・島うなぎの
アザミウマ対策
- 6P・経営難を乗り越える

主催者あいさつ
(玉城会長)開催地代表あいさつ
(當山村長)赤土流出防止等講習会
(グリーンネットワーク理事長 西原隆氏)赤土流出防止現地見学会
(農業環境コーディネーター 仲村仁也氏)イノシン防止柵と連動した
キュアマットによる対策

キュアマットについて
生分解性の透水マットで、耐用年数は5年程度。
本来ベチバー等植栽による対策が推奨されているが、イノシン防止柵との相性が悪いため、東村赤土等流出防止対策協議会では、キュアマットの設置に取り組んでいる。

(担当：新城)

果樹の台風対策事例

マンゴーの台風対策

事前対策

- (1) 風害抑制のため、ハウス外に防風ネットや防風垣を設置しましょう。
- (2) 強化型ハウス等は、内側にもネットを設置すると、防風効果が高くなります。
- (3) 枝が損傷した場合、かいよう病の原因となるので、殺菌剤を散布しましょう。



風すれ・塩害による葉の枯れ症状

事後対策

- (1) 塩害対策として樹全体に散水しましょう。

(担当:幸地)

パイナップルの台風対策

事前対策

- (1) 植付後の苗は台風対策として日焼け防止ネット等をべたがけし、鉄筋等で周囲を抑え対策しましょう。
- (2) 収穫前の圃場では、倒伏防止・鳥獣害対策も兼ねてパイプ等で支え、ネットをパッカー等で押さえて、株全体を覆うようにしましょう。



日焼け防止ネットのべたがけ

事後対策

- (1) 植付苗の芯部に入った土を殺菌剤で除去しましょう。
- (2) めくれた日除ネットや紙袋等は早急に直し、日焼け対策を行いましょう。

(担当:伊波)

カンキツの台風対策事例

事前対策

- (1) 高接ぎや苗については、枝を棒で固定するなどして、折損防止に努めましょう。
- (2) 防風林が未整備の場合、防風ネットの設置等に努めましょう。
- (3) 台風後の病害発生(特にカンキツかいよう病)を防止するため、台風接近1~3日前に殺菌剤を散布して予防に努めましょう。



葉に発生したかいよう病

事後対策

- (1) 台風後に雨が少ない場合は、塩害防止のため台風通過後6時間以内に、10a当たり2~3トンを目安に樹体に散水し、付着した塩分を洗い流しましょう。

(担当:光部)

野菜の台風対策事例

事前対策

●ゴーヤー

- ・つるを下ろし、防風ネットで被覆しましょう。
- ・台風通過後は、早めに株を起こし、再度誘引しましょう。



つる下ろし + ネット被覆

●その他の事例

- ・葉野菜はコの字支柱を、使用してネットのうきがけを行いましょ。



葉野菜のうきがけ

●オクラ

- ・(切り戻し)
- ・倒伏防止等のため、台風接近前に約40cmの高さで切りましょう。
- ・(株の固定)
- ・ひもを使い支柱に株を固定しましょう。



ハウスバンドによる固定

- ・スイカ等、地這い栽培を行う野菜は、防風ネットでじかがけ被覆しましょう。



スイカのじかがけ

事後対策

●作物を早期に回復させるため下記の作業を行いましょ。

- ・じかがけした防風ネットは早めに取り除く。
- ・倒れた株は早めに元に戻し、土寄せを行う。
- ・病害発生予防のため、登録のある殺菌剤を散布する。
- ・早めに散水し、葉や茎についた塩分や土は洗い流す。
- ・葉面散布用肥料を散布し、草勢回復を図る。

(担当: 吉平)

花きの台風対策事例

事前対策

- ・防風ネットを利用して、風対策を行う。
- ・マルチは土のう等で押さえる。破損箇所は補修する。

事後対策

- ・株に付着した泥や塩分を洗い流し、殺菌剤の散布を行う。
- ・破損した株や枝は早めに片づける。
- ・うきがけの場合、台風通過後の強光対策で側面解放し、風通しをよくする。
- ・じかがけの場合には早めに片付ける。



防風ネットの浮きがけ



跳ね上がった泥を洗い流す

(担当: 森)



さとうきびの台風対策事例

- ・ **さとうきび**は、台風や干ばつ等の厳しい気象条件下においても比較的安定した生産が可能な作物である。
- ・ 台風の強風による折損被害は、茎伸長のしなりで軽減出来る場合もある。しかし、茎長が短い時期に台風接近した場合、風折に弱い品種で大きな折損被害を受けることがある。また、降雨の少ない台風の場合は、潮風害が発生し、葉が枯死し一面茶色くなり生育停滞や品質低下を起こす。



倒伏と茎のしなりで茎折損が軽減する場合もある

折損被害の状況



潮害の状況



事後対策

- 潮害を防ぐために、台風通過後、速やかにスプリンクラー等で散水を行い、葉に付いた塩分を洗い流し、葉の回復を図る。
- 倒伏や土壌流亡による根の浮き上がりは、株元への土寄せを行い、樹勢の回復に努める。
- 植付け直後、植溝が土砂で埋没した場合は、芽掘り作業により土を除去し、発芽促進に努める。
- 苗が流亡して欠株になった場所は、補植を行い茎数を確保する。
- 折損被害が甚大な場合は植え替えを行う。または、株揃えし採苗圃として利用する。



スプリンクラー散水



倒伏で浮き上がった株は土寄せを行う



埋没した圃場の芽掘り作業



Ni21(農林21号)	Ni22(農林22号)	Ni28(農林28号)
(特徴) ・風折抵抗性に優れている。 ・潮害後の収穫でも糖度が高い。 ・茎は中～太い「茎重型」	(特徴) ・発芽や萌芽、初期伸長が優れている。 ・早期高糖で12月収穫も可能で可製糖量が多い。 ・茎は細い「茎数型」	(特徴) ・風折抵抗性が強く、耐倒伏性もよい。 ・早期高糖で株出し萌芽が良く、多収。黒穂病に極強。 ・細～中茎「茎数型」
(普及対象地域) 久米島地域	(普及対象地域) 八重山地域	(普及対象地域) 南大東地域

かん水の効果



かん水は、台風や干ばつの被害軽減や回復を早めるだけでなく、発芽・萌芽や成長促進させます。積極的にかん水しましょう。

(担当:川之上)

島らっきょうのアザミウマ対策

近年、アザミウマ被害の相談が増えています。

アザミウマはらっきょうの葉を吸汁するため、葉が白くかすれような見た目になってしまいます。被害が大きくなると生育が著しく悪くなるほか、出荷後の日持ちも短くなってしまいます。

➤ 早期発見

ほ場を見回って発生していないか確認してみましょう。
白いトレーに葉を打ちつけると虫が確認しやすいです。

➤ 粒剤の使用

植え付け後の施用で初期の発生を抑えられます。

➤ 浸透移行性のある薬剤の利用

散布後に近隣から入ってくることもあるため、浸透移行性のある薬剤も活用しましょう。展着剤も利用しましょう。



表 らっきょうのアザミウマ類に登録のある薬剤

薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	浸透移行性	備考
ダントツ粒剤	6kg/10a	収穫21日前まで	2回	有り	
スタークル粒剤	6kg/10a	収穫前日まで	3回	有り	※
スミチオン乳剤	1000倍	収穫7日前まで	2回		
アグロスリン乳剤	2000倍	収穫3日前まで	5回		
ハチハチ乳剤	1000倍	収穫前日まで	2回		
ビリーブ水和剤	1500倍	収穫14日前まで	3回		
スピノエース顆粒水和剤	2500倍	収穫3日前まで	3回		
アルバリン顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回	有り	※
モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	収穫14日前まで	3回	有り	
ディアナSC	2000～ 5000倍	収穫前日まで	3回		

農薬の使用の際は必ずラベルの使用基準を確認しましょう。

上記は令和6年6月末時点の登録情報です。

※アルバリンとスタークルは同一成分のため使える回数は両方合わせて3回以内です。

経営難を乗り越える ～所得拡大に向けた経営と管理技術の検討を～

今帰仁家畜市場の出荷子牛は、発育良好な牛が増加していますが、令和5年に続き、子牛取引価格の回復の兆しがみえない社会情勢となっています。施設整備事業・制度資金活用等を含め、取引価格・生産コストを踏まえて、**所得拡大に向けた働き方・管理方法・出荷時期**等を検討してください。

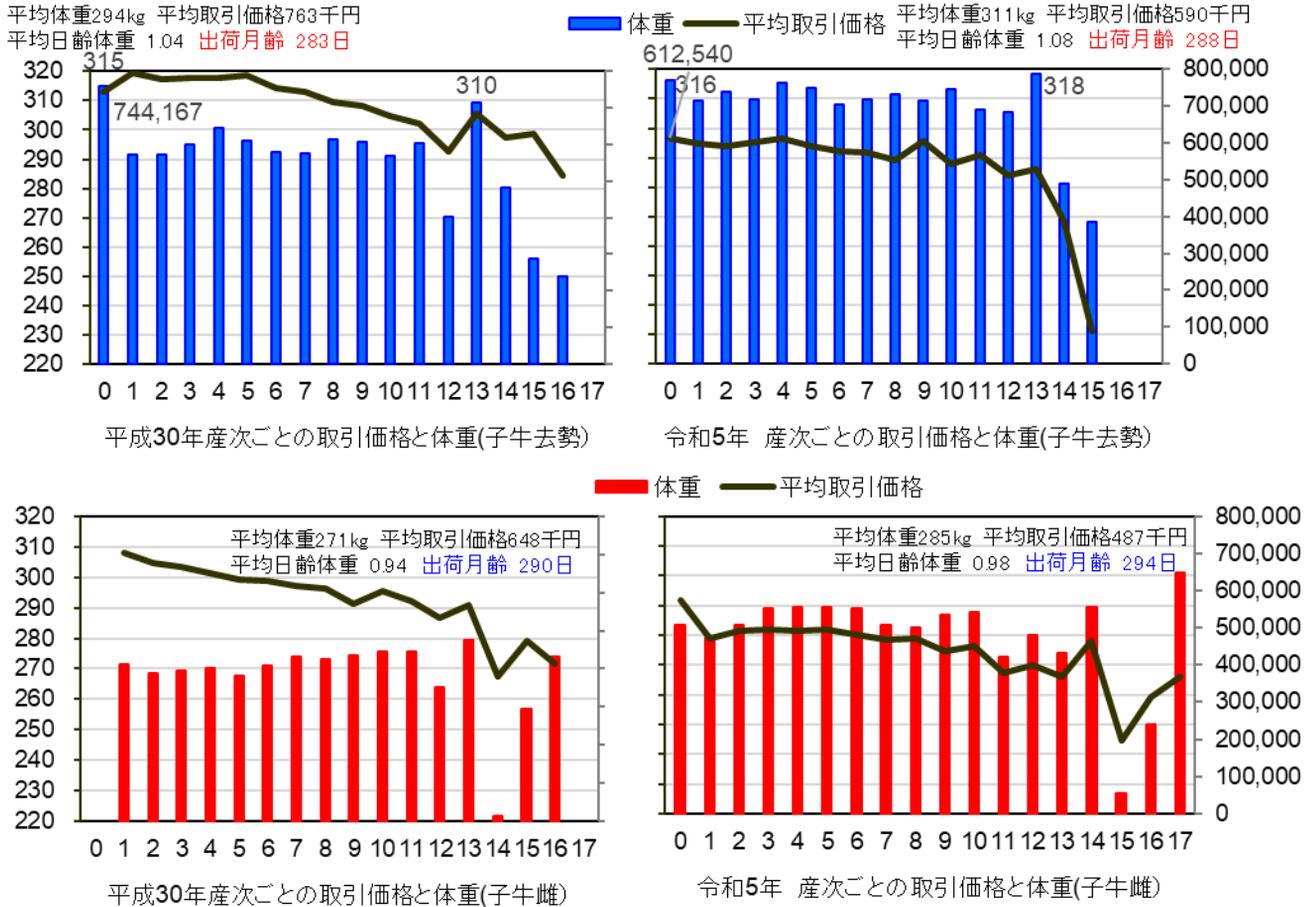


図 子牛ごとの取引価格と体重の比較 (横軸：母牛の産次 縦左軸：子牛の体重 縦右軸：平均取引価格)

生産コスト削減の事例 ～地域資材の活用した肥料代替の事例～



堆肥



泡盛蒸留粕

- 地域資源の散布により収量の増加、微量元素を向上させる等、肥料効果が認められます。
- 泡盛蒸留粕の水分含量は90%程度で液状です。変敗しやすく、速やかに処理する必要があります。
- 堆肥や液肥散布により、硝酸態窒素が増加するので、刈取期を遅延させる必要があります。
- 散布は、草地更新のタイミングや冬期の表面散布等で行います。